

小学校 高 学年< 5 - ( 3 ) >

学 年	5年	時 間	社会科「わたしたちの国土」 小単元「国土の気候の特色と人々の暮らし」	時 期	5月	時 数	1時間（45分） （第1 or 5 時 / 全5時間）
本時目標		（第1時の場合）国土の気候の特色は災害とも結びつきやすいことを知り、地域の人々の暮らしと産業について学習する課題設定する。 （第5時の場合）国土の気候の特色は災害とも結びつきやすいことが分かり、鳥取県の地域の人々の暮らしと産業についてまとめる。					
資料・準備		本、インターネット環境、ワークシート等					

第1時の場合を下記にあげたが、鳥取県を学習後、第5時の場合も考えられる。  
 第5時の場合は、まとめて課題設定ではなく、鳥取県の気候・産業についてまとめる。

展開（第1時）

	学習活動と内容 発問(◇)予想される児童反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 国土の気候の様子について、各地の気候の違いを比べることを知る。 ◇私たちの住む鳥取県はどんな気候でしょう。鳥取県内でもいろいろな地域の気候の様子はどうか。 ・冬に雪が降る ・夏は暑い ・梅雨によく雨が降る ・台風がくる ・西部と東部でも違う ・日南町・智頭町・若桜町や境港市・鳥取市は異なる	○身近な鳥取県の気候の様子を思い起こさせ発表することによって、他県、他地方の気候を考えるきっかけとする。
展 開	2 国土の気候の様子について、本やインターネットなどで、鳥取県との違いや、日本海側と太平洋側、また南北に長い国土の様子から北と南、土地の高低、地形でも違いがあることを調べ、話しあう。	○グループ学習をする。 <おさえること> ・太平洋側と日本海側では、季節風の影響で夏と冬の気候が違う ・日本の北と南では気候が違う ・台風や梅雨が多くの水をもたらす ・海流や土地の高さ、地形で気候が違う ・雪が多く降る所とあまり降らない所 ○気候の特色は、災害とも結びつきやすいことにも触れる。 <例> 鳥取県の豪雪（平成23年、24年） 鳥取県の集中豪雨 台風や季節外れの突風 など
ま と め	3 気候によって暮らしを守る工夫や生産活動に特色があることから、調べてみたいことを話しあい、学習問題を設定する。	○学習問題（課題）を設定し、本時の学習のふりかえりをする

関連する 教科・領域等	理科「台風と気象情報」
協力団体	